

練馬区消防団運営委員会事務局  
(練馬区危機管理室防災推進課)

令和6年度第2回練馬区消防団運営委員会議事要録

1 日時

令和7年1月28日(火) 13時30分から14時00分まで

2 会場

練馬区役所本庁舎7階防災センター

3 委員長および委員の出欠状況

(1) 出席者

前川委員長、小林委員、おじま委員、柴崎委員、浅沼委員、上野委員、國分委員  
かわすみ委員、鈴木委員、白石委員、石黒委員、山田委員、ももかわ委員、  
大住委員、有海委員、佐藤委員、青柳委員、加藤委員、榎本委員

(2) 欠席者

なし

4 議事内容(要旨)

(1) 開会

【練馬区危機管理室長(司会進行)】

令和6年度第2回練馬区消防団運営委員会を開催する。

(2) 委員長挨拶

(委員長の挨拶)

(3) 議事

【事務局（光が丘消防署警防課長）】

(資料について説明)

練馬区内消防団員を対象に実施したアンケート調査の結果や令和6年度第1回委員会での意見をもとに、作成した方策案について説明。

【練馬区危機管理室長（司会進行）】

以上の説明に対し、ご質問、ご意見等は。

【委員】

答申内容について異論はないが、特別区学生消防団活動認証制度について具体的な制度の説明を入れ、誰でも分かるようにしたらいかがか。

【事務局（光が丘消防署警防課長）】

特別区学生消防団活動認証制度について、補足説明を入れることで対応する。

【委員】

若い世代という文言が加わったが、「若い世代」についてどのような方をイメージしているのか。

【事務局（光が丘消防署警防課長）】

消防団員の入団条件は18歳以上であるため、イメージとしては主に20代くらいの若い方のサポートをしっかりとしていきたいという主旨である。

【委員】

了解した。答申書は消防団員が対象と理解しているが、小中学生くらいの若い世代にも消防の教育をしっかりといただけるとありがたい。

(4) その他

【委員】

消防団員としての立場もあるのでお伝えするが、消防団のイベントは準備の時間を含め拘束時間が長く、効率的ではないと感じている。消防団の方は生業を持たれながらイベントに参加しているので、よりコンパクトにすることを意識してほしい。

**【委員】**

水防訓練や操法大会等の実動部分を短縮することは難しいかもしれないが、セレモニーなど全体を通して時間短縮を意識してほしい。特に夏の暑い時期は熱中症の懸念もあるため時間短縮を検討していただきたい。

**【事務局（石神井消防署警防課長）】**

ご意見として頂き、可能性を含め検討する。

(5) 代表消防団長挨拶

**【光が丘消防団長】**

消防団代表挨拶

(6) 事務連絡

**【事務局（光が丘消防署）】**

事務連絡

(7) 閉会

**【練馬区危機管理室長】**

以上で本日の消防団運営委員会を終了する。